

第3回句会 俳句

【高点句】

☆母の杖歩み止めて曼珠沙華
〈貪愚理〉

☆無月とて月抱く雲の薄明かり
〈一馬〉

☆鈴生りの一枝も添へ柿届く
〈眞澄〉

【各自一句】

・ 椋鳥の一団去りて空からつぽ
〈眞澄〉

・ 厨（くりや）にて孤軍奮闘秋日
〈安津子〉

・ 台風過洗ひたてたる街静か
〈明美〉

・ 花木権母とすごせし日はとほく
〈千恵〉

・ 柿たわわ地に着く枝もそのままに
〈一馬〉

・ 島並みを跨ぐ白橋（しらはし）天高し
〈貪愚理〉

・ 金木犀「岳」の一節想い出す
〈隆司〉

・ 上向きに持つ花束や天高し
〈抹茶〉

・ 子規庵のガラス窓越し糸瓜揺れ
〈撫子〉

・ だんだんと欠けて満ちたる月妖し
〈静〉

・ 噴火山色なき秋の救助隊
〈莫院〉

・ 詩に倦めば絵筆をとりて渡り鳥
〈紗希〉

*以上、三十六句（三句ずつ十二名）より、選句は十四名による

*高点句は、高得点の句より三句（同点の句がある場合は、第三位の句迄）

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による

